

ノイロ測定とは？



京都大学医学部医学博士の故中谷先生が開発され、全国で約3000名のドクターや薬剤師・鍼灸師が参加されている医学会（自律神経学会）で普及されている**高度医療測定器**です。

測定時にあなたの身体を動かしている自律神経（各内臓を動かしている内臓神経と言われています。また、元気に生きる為の生命神経とも言われています。）を測定しています。

神経の状態の内臓の状態を測りうる事が出来るとされています。

真ん中の緑の範囲は、生理的範囲と言ひ、内臓のバランスが整っている状態。水色は、内臓を調整する力が低下し、虚証という状態で、動きが弱いとされており、赤色は、内臓を調整する力が上昇し、実証という状態で、動きが強すぎるとされています。

赤色の状態の時は、内臓が熱・燥・表・実という状態に・・・・・・・・（神経が興奮している）

水色の状態の時は、内臓が寒・湿・裏・虚という状態に・・・・・・・・（神経が抑制している）

本来漢方医学では、この内臓の状態を脈診という診断方法で診て、患者さんの内臓の状態を判別します。脈診は、長年の経験と診る先生
の感覚による所が大きく、当然一般の方では判断が付きません。

当会では、この内臓の状態を診る為に、本来、医学的に使用されている測定機器を一般の方でも使えるように指導者を育成し、皆様の健康管理に活かせるようにしています。

病気や症状が出てからでは、良くなるのに時間がかかります。漢方で云う未病を治す、病気になる手前に病気を見つけ手当てをする、それが予防です。是非、予防を心がけて下さい。

季節の変わり目や生活に無理がかかった時などは、主に3ヶ月に一度を目安で内臓の状態や負担等を見て、健康管理にお役立て下さい。